

成果報告会

すみれこども園



神田寿恵 園長

Topics

01 園紹介

02 働き方改革を推進した背景

- ・ 過去の問題
- ・ 施策とその効果

03 今回の取り組み

- ・ 更なる課題の整理
- ・ リーダー主導のアクション

04 総括とこれから

01

園紹介

園紹介

施設名	すみれこども園
種別	こども園
設置主体	社会福祉法人熊崎福社会
住所	臼杵市大路大野字友田大道西12番地 1
設立日	昭和45年3月（50年目）
定員	215名
職員数	54名（2020年1月時点）



園紹介～施設の紹介～



園紹介～これまでの活動～



園紹介～今年の活動～



02

働き方改革を推進した背景

- ・ 過去の問題
- ・ 施策とその効果

過去の問題

当時（6年前）の状況

- ・ 手書き事務作業 多い
- ・ 行事準備 多い
- ・ 残業、持ち帰り仕事 多い
- ・ 配置人数 少ない



結果として・・・

- ・ 有休取得日数 少ない
- ・ スタッフ間
コミュニケーション 少ない
- ・ 退職者数 多い



施策とその効果_具体的な施策（1）

具体的な施策 ～経営サイド～

- 大分県健康経営事業所への登録
※職員共通の目標を作ったことで、帰属意識が高まった
- 保育教諭の増員（幼保連携型認定こども園移行・制度活用）
- 保育補助者の配置（大分県臼杵市の助成金活用）

施策とその効果_具体的な施策（2）

具体的な施策 ～労務サイド～

- 専用休憩室の確保
- ノンコンタクトタイム：40分／日
ノンコンタクトデイ：1～2日／月
- 有休休暇の義務化（連続5日以上のリフレッシュ休暇）
- 子育てしながら働ける環境
⇒子どもの看病休み
⇒学校行事等に積極的に参加する）

施策とその効果_具体的な施策（3）

具体的な施策 ～その他～

- 従来の仕事内容の整理
⇒行事の準備を職員全員で一斉に行う 等
- ICTの導入
- 園全ての保育室にPCを導入

施策とその効果_実践（1）

(1)書類記入の廃止または簡略化

【対策内容】 事務効率化

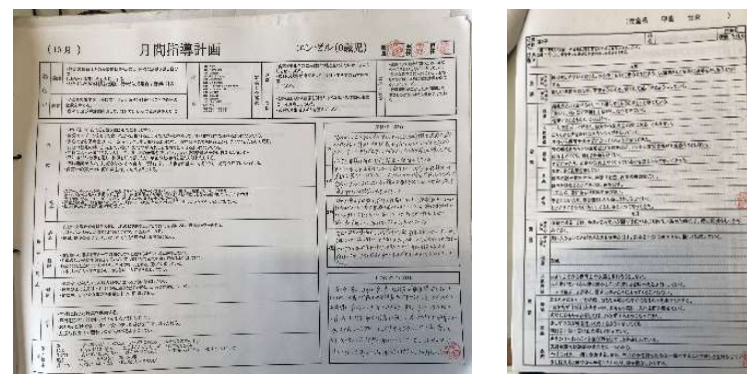
【期待効果】 事務作業を最小限にし、
保育に関わる時間を増やす

【具体策】

月・週・日の指導計画や個別指導計画など、
重複している書類を1枚ものにまとめ、
無駄になっている書類を廃止

例) 月案と個別指導計画を一つの
書類で終わらせる etc

Before：平成30年度以前



After：平成31年(令和元年)度以降



2つの書類を1つに
まとめてシンプルに

施策とその効果_実践（2）

(2)業務効率支援システム導入

【対策内容】 登降園管理・事務効率化

【期待効果】 事務作業を最小限にし、
保育に関わる時間を増やす

【具体策】

- ・ 登降園管理を、デバイス使用に変更
- ・ 日々のおたよりや、園全体のお知らせを、
アプリで配信
- ・ 各年齢別に専用パソコンを導入

etc



施策とその効果_実践（3）

（3）こども園への移行

【対策内容】 配置人数

【期待効果】 こども園へ移行することで、
保育士配置を増やすことが可能

【具体策】

・平成31年からこども園へ移行
結果、3～5歳児クラスは手厚い配置が
できるようになった。

1：30配置⇒2：30に変更ができ、
40名の学年を2クラスにし、
1クラスに対し、担任・副担任を配置

	平成26年度	令和元年度
施設種別	認可保育所	こども園
定員数	42名	54名
幼児スタッフ数	スタッフ各1名	スタッフ各2名

施策とその効果_実践（４）

（４）ノンコンタクトタイムの確保

【対策内容】 休憩・事務時間の確保

【期待効果】 保育室から離れた休憩室を用意、
心身のケアと集中できる時間の確保

【具体策】

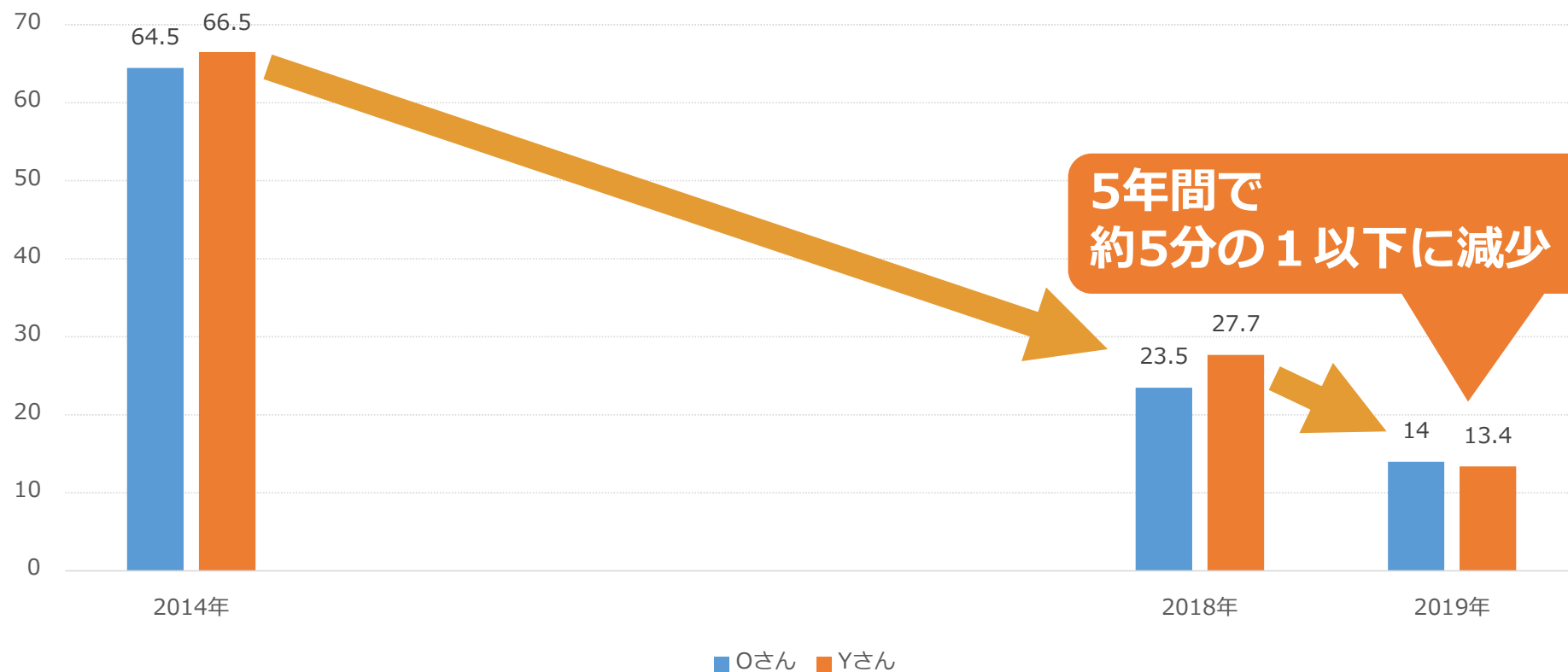
- ・ 保育室とは離れた場所に休憩室を確保
- ・ 冷蔵庫も容易
⇒ 休憩で外出し、買い物をしたものを入れる事ができるようにし、
子育て中のスタッフの買い物負担を軽減

etc



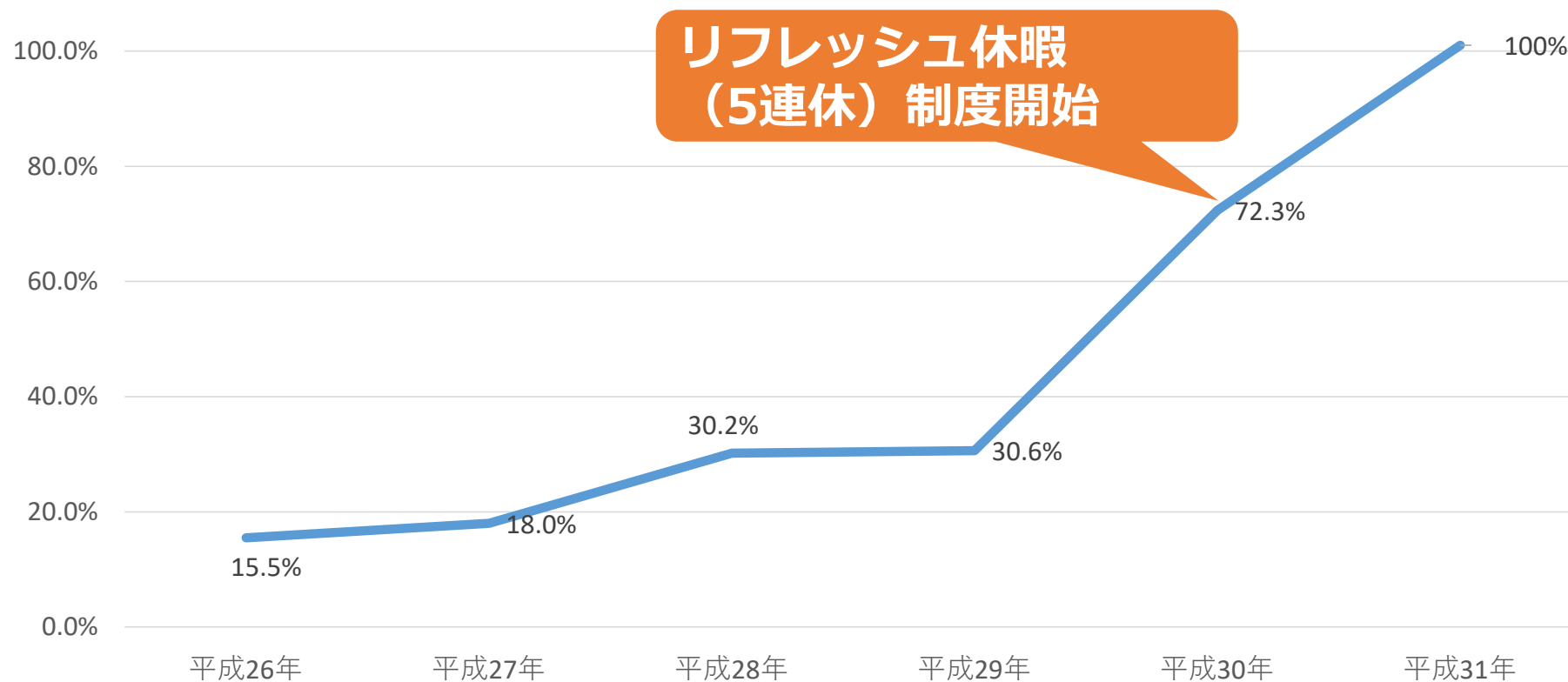
施策とその効果_結果（残業時間*）

（単位：時間/月）



※すみれ保育園の繁忙期である11月の残業時間を、残業が多い2名（Oさん、Yさん）で比較

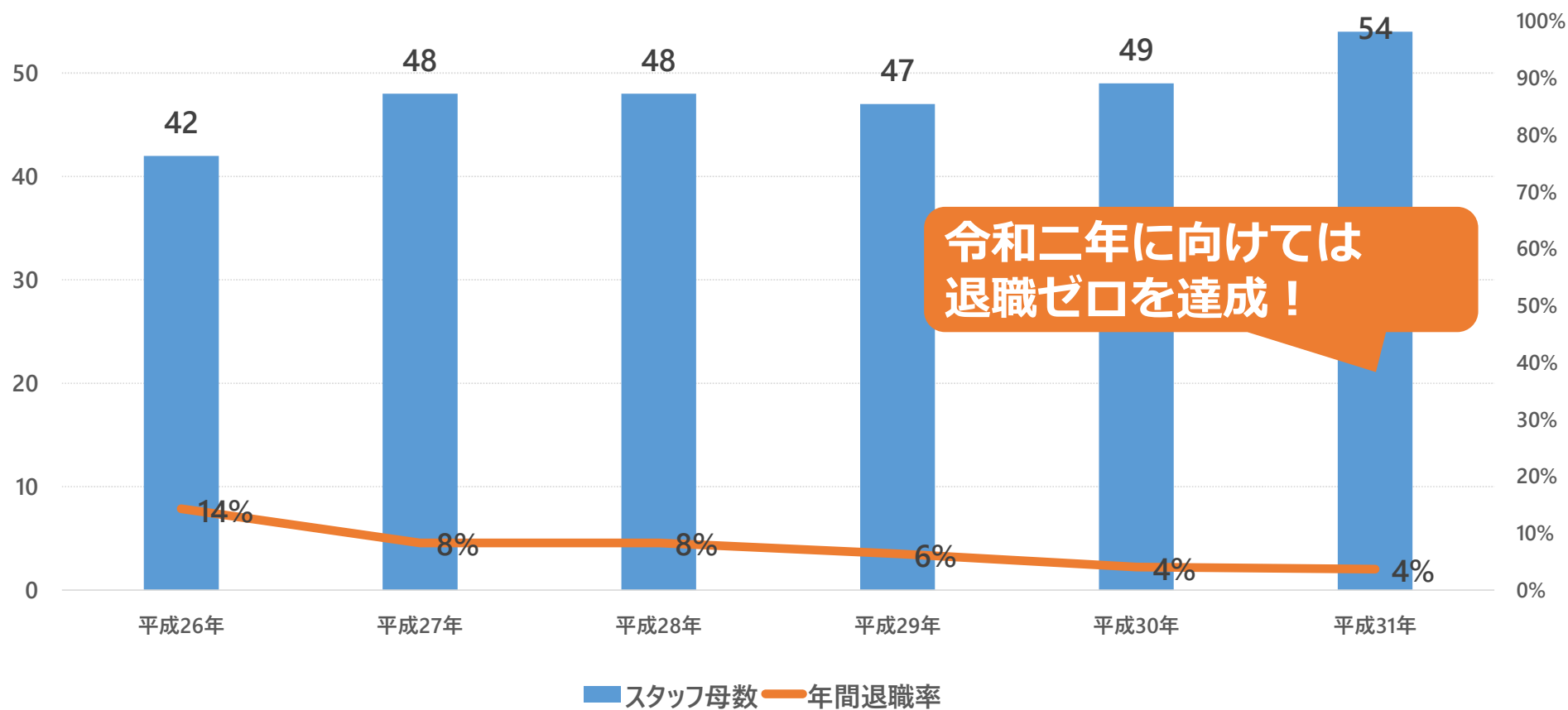
施策とその効果_結果（有給取得率[※]）



※すみれ保育園の全スタッフの「有給取得日数÷有給付与日×100」で算出

施策とその効果_結果（退職率*）

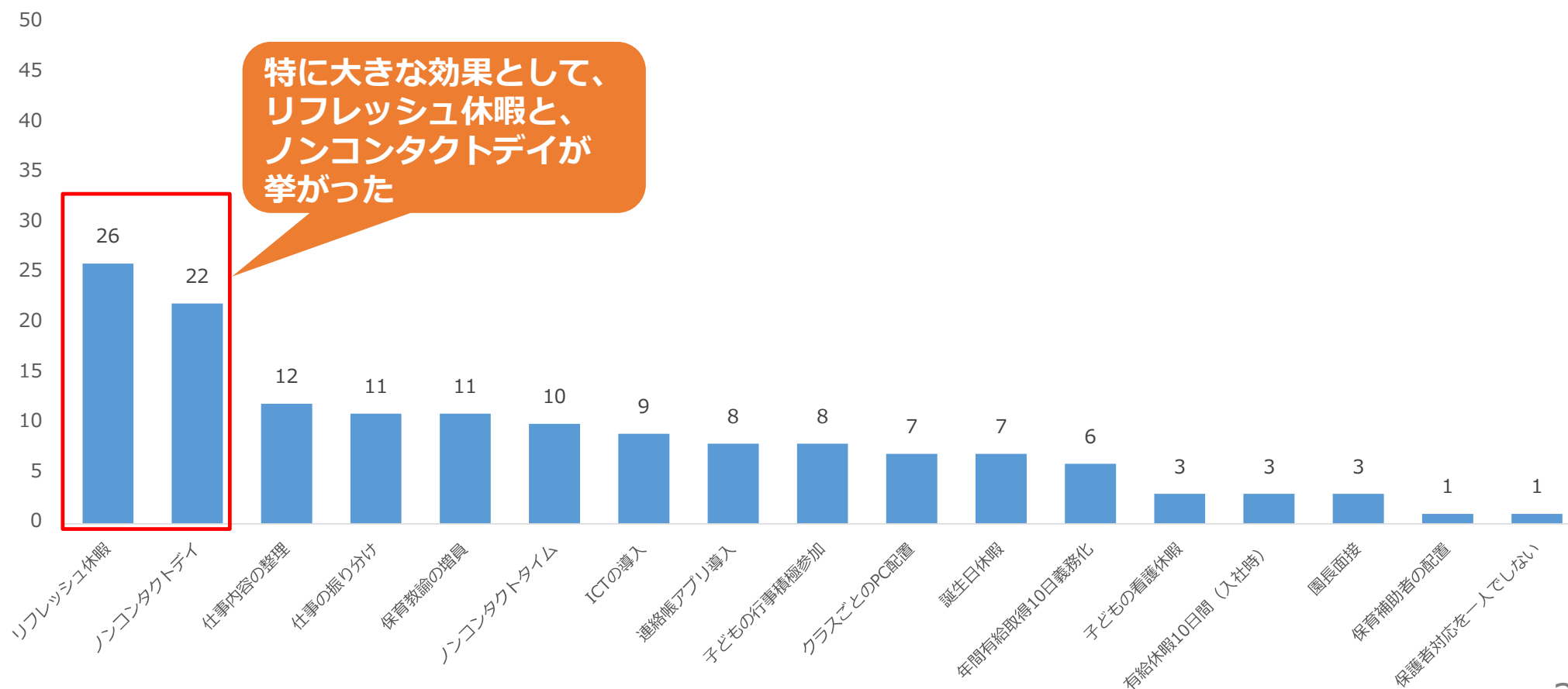
（単位：人）



※すみれ保育園の繁忙期である11月の残業時間を、残業が多い2名（Oさん、Yさん）で比較

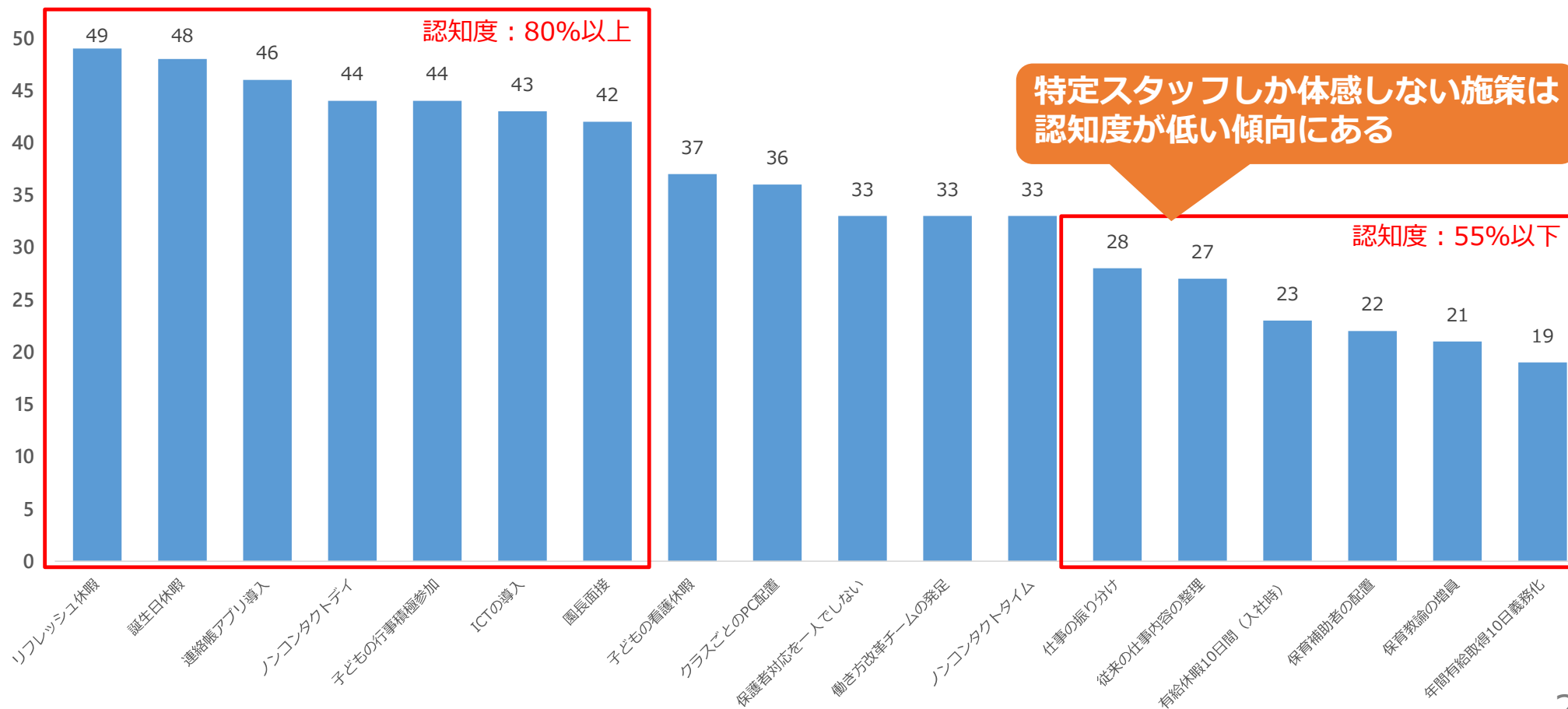
【参考】効果が高かったと思う取り組み

n=51名、回答数=148（複数回答のため、1人平均回答数3項目）



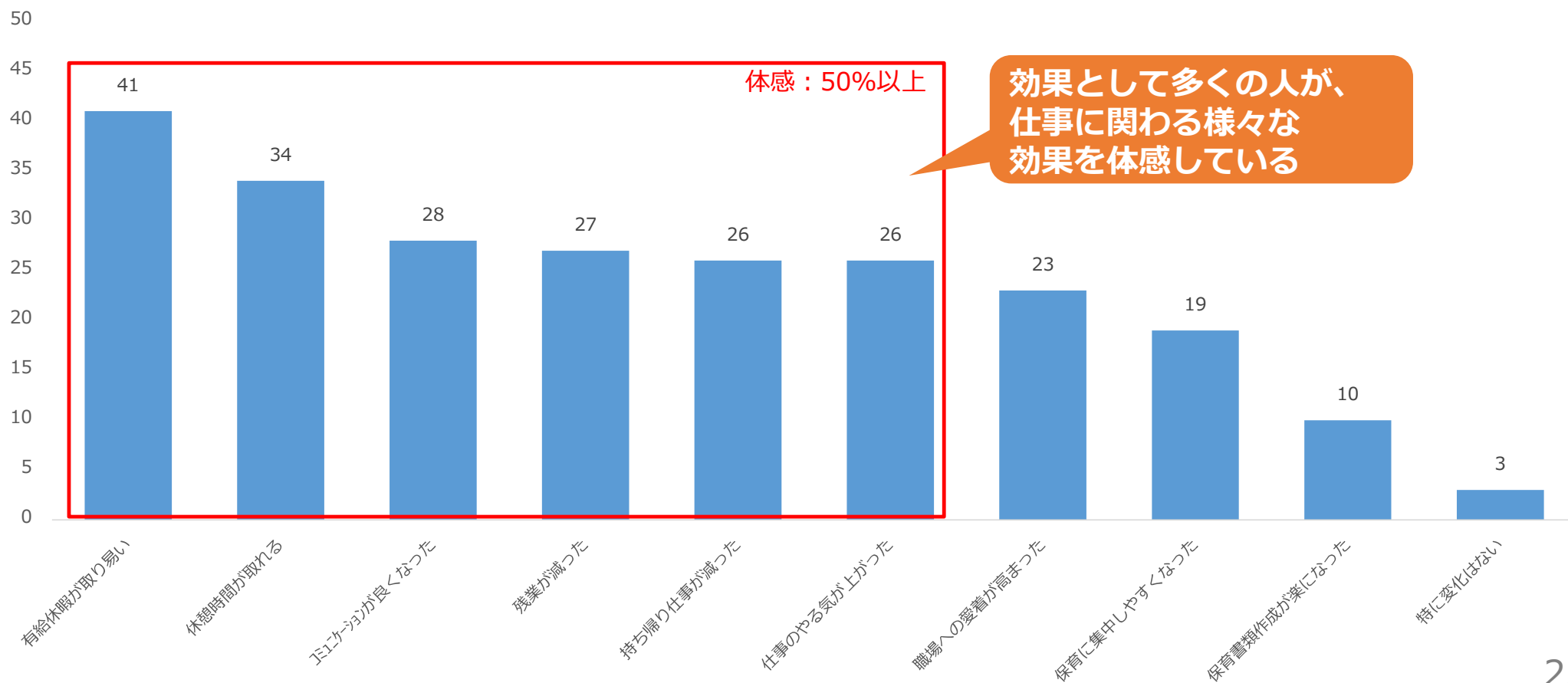
【参考】施策の認知度

n=51名、回答数=628（複数回答のため、1人平均回答数12項目）



【参考】施策の効果（体感値）

n=51名、回答数=237（複数回答のため、1人平均回答数5項目）



03

今回の取り組み

- ・ 更なる課題の整理
- ・ リーダー主導のアクション

更なる課題の整理（1）

これまでの施策で、ほぼやりつくしたと思っていたが・・・

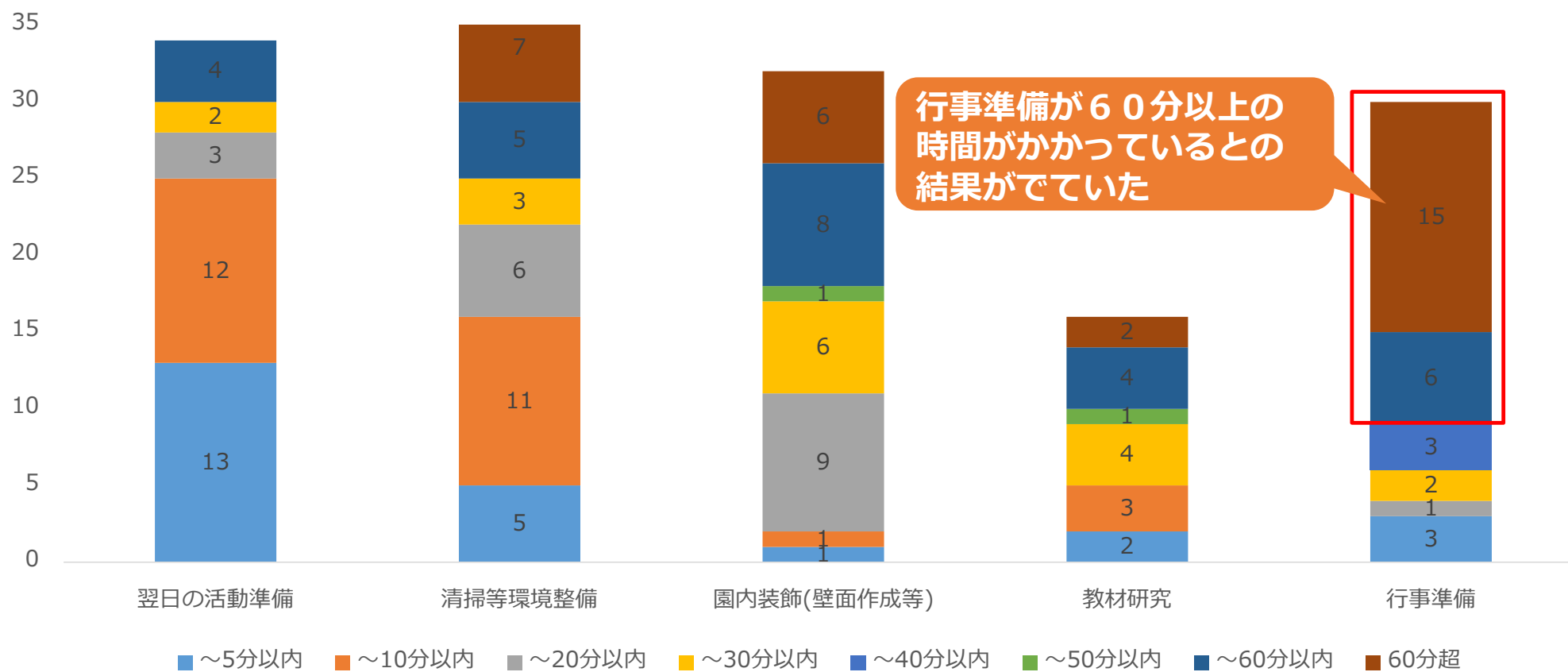
コンサルティング担当の協力（＝アンケート調査）により、

さらに改善ができる施策が発見！

内容＝アンケートおよびスタッフヒアリング

期間＝2019年9月～2020年2月

【参考】アンケート結果



母数nは、各項目の最大値となり、合計との差異は行っていないとの回答

更なる課題の整理 (2)

アンケートとヒアリングで
さらに見えてきた課題

- ・ 質の高い行事を定期的に行っており、
行事回数が多いことから、
行事準備の負担が大きい
- ・ お便りも冊子にして、保護者に
渡していた為

過去はトップダウンでの施策実行が多かったことから、今回は主幹などに「働き方改革リーダー」任命し、取り組むことにした！



アクション：卒園式の保育化

(1)卒園式の保育化（＝簡易化）

【対策内容】

保育時間を増やす為に、卒園式の保育化を進める

【期待効果】

- ・子どもとの保育時間が取れる
- ・子どもと関わる時間が増える

【具体策】

- ・休日を利用した全体準備
- ・人体をなくす（子どもの等身大の絵）
- ・証書の受け取りの簡素化
＝子どもと一緒に作ることで保育化

休日を利用した全体準備



アクション：卒園式の保育化_課題

今後進めていくこと

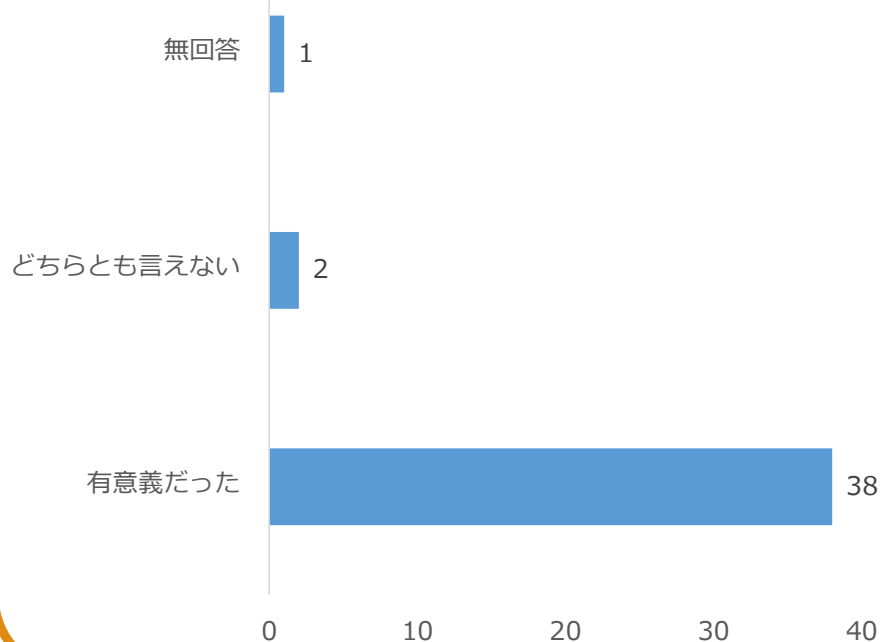
- ・ 人体をなくす（子どもの等身大の絵）
- ・ 証書の受け取りの簡素化
- ・ **子ども達と話し合いの場を持ち、
どういう卒園式にしたいか考える**
- ・ 保育の中で進めていく（子ども主体で）



アクション：休日を使い発表会準備_効果

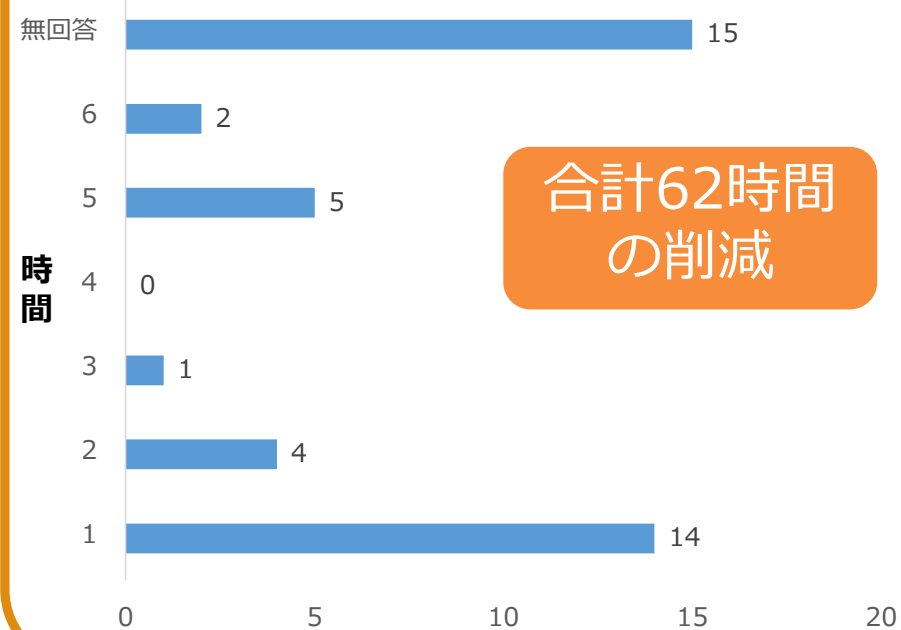
発表会準備を休日にした感想

(単位：人、n=41)



発表会準備を休日にした感想

(単位：人、n=41)



合計62時間の削減

アクション：クラス便り変更

(2)クラス便り変更（=簡易化）

【対策内容】

- ・写真や文言の検討に時間がかかる
（内容、構成、レイアウト等）

【期待効果】

- ・事務仕事の時間の削減
- ・クラスだよりが重荷にならない
- ・他の事務仕事に時間が使える

【具体策】

- ・日常生活の写真を使う
- ・文章、写真のレイアウトなど担任に任せる（個性を活かす）

etc



アクション：クラス便り変更_効果

変更前



冊子になっていたの、各クラス同じつくりになっていた

変更後



冊子をやめたことで、保育の普段をまとめる形に変えることができ

各クラス(9組)10~20分削減、合計90~180分/月

アクション：クラス便り変更_今後の対策

取り組みに対する課題

- ・ 4、5歳児に関しては、行事写真に頼っていた面があり、日常の写真をとるという習慣が身についていない所がある。
- ・ クラスだよりで自分が何を発信したいかを、日常の中で考える習慣をつけていく。

04

総括とこれから

総括とこれから(1)

私が取り組んだのは園長から進めるのではなく、職員主体で進めていけるように園内に「働き方改善チーム」を発足して進めた

- ・ 今まで見えなかった困りごとが見えてきた
- ・ 「できない」ではなく「どうしたらできるか」をまず考える
- ・ 「そんなことできるわけない」ではなく、「まずやってみる」
- ・ 施設長がそれを受けてすべて前向きに取り組む

⇒仕事も私生活も充実して心に余裕ができ、保育を楽しむ姿が見られるようになった



総括とこれから(2)

課題

- 1.働き安くなったことが手抜きに繋がらないように、心のゆとりを質の高い保育に繋げていかないといけない。
- 2.行事等を削減または簡素にすることで保護者の理解をいただけるのか。





END OF DOCUMENT
